

柏原計器工業 株式会社

水道メーターの進化を先導 質、量ともトップに

企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



銅合金を加工したメーターケース

業務内容 検針業務経験を生かし、 自動検針システムを開発

昭和22年創業。昭和46年に、近隣市町より水道の業務を委託される。検針業務はメーター設置場所が電力やガスに比べて見にくいことが多く、検針員の負担も大きい。

同社は検針員の負担軽減を目指し、昭和60年に8ビットマイコン内蔵電子式メーターを先駆けて開発以降、特に自動検針システムの開発に力を入れてきた。メーター製造では後発のためシェア拡大は思うように進まなかったが、徐々に技術力が評価され、徹底的なコスト見直しもあってトップメーカーに上り詰めた。

強み 一貫生産で 品質・コスト管理を徹底

開発部門、銅合金製造部門、プラスチック成形部門を有し、ケースの製造から部品の製造、組立、検査まで一貫生産を行っている。品質管理とコスト削減を徹底でき、信頼性の高い水道メーター製品を安定供給できる。人材の面でも地元高校から毎年採用を続けている。

三浦直人社長は社員を「ものづくりが好きな人の集団」と評し、業務改善活動の推進や先輩社員からの継承で人材育成を図っている。研究開発や生産技術の革新を生み出す企業風土が定着し、柔軟な発想力で次々とユニークな製品を開発してきた。

環境対応 メーターのリサイクルに 率先して取り組み

水道メーターでトップシェアを持つメーカーとしての責任を果たすため、環境問題への対応を矢張り早に進めている。リサイ

クル率を高めるため、旧八尾工場を3R工場として新たに稼働した。古くなったメーターを回収し、内部の部品を取り出し、ケースや部品などの材料のリサイクル率を高める。

一方、製造工場では設備を改善し労働環境を整える一方、有害な元素を含まない鋳物を製造するよう心がけている。鉛フリー化やレアメタルフリー化を進め、安全性と品質の確保、コスト低減が図れるものづくりの高度化を進めている。

今後の展望 製品、製造の両面で I・O・T対応を進める

三浦社長は「I・O・T（モノのインターネット）、AI（人工知能）、ロボットの進展を見誤らないようにしたい」と、生産、製品の両面でI・O・T化を進める。早くから遠隔検針に取り組んできた同社はI・O・T対応の水道メーターを開発。平成26年に開発したハイブリッド型水道メーターは、歯車式乾式水道メーターをベースに積算、無線通信機能を併せ持つスマートメーター。過去に開発した電子式メーターに比べ、消費電力も小さくできることが特徴。

一方、製造工程でも5工場を接続しI・O・T化、各設備の稼働状況をリアルタイムで把握できるシステムを導入した。



マイコン内蔵型電子メーター



環境に配慮した表面処理

当社の歴史



創業以来、水道メーター製造や検針業務に専心するとともに、独創的な高付加価値製品の開発にも力を入れてきました。昭和60年に世界初の8ビットマイコン電子式水道メーターの開発に成功し、この製品に導入された技術はキーテクノロジーとなり、以降の製品にも引き継がれています。

代表取締役 三浦 直人さん

<http://www.kashikei.co.jp/>

主な事業内容

水道メーター製造、販売

主な取引先(納入先)

全国市町村水道局、ビル、マンション等の管理会社

- 住所 〒582-0001 柏原市 本郷5-3-28
- TEL 072-973-0601
- FAX 072-973-0610
- 創業 昭和22年2月
- 設立 昭和38年9月
- 資本金 5,000万円
- 従業員 98名